

ROYAL-TIMES

～ロイヤルホームの新しい生活～



今月のイメージ写真=4F庭園に咲いたひまわり

夏の過ごし方

岡 聖史
2020年8月29日

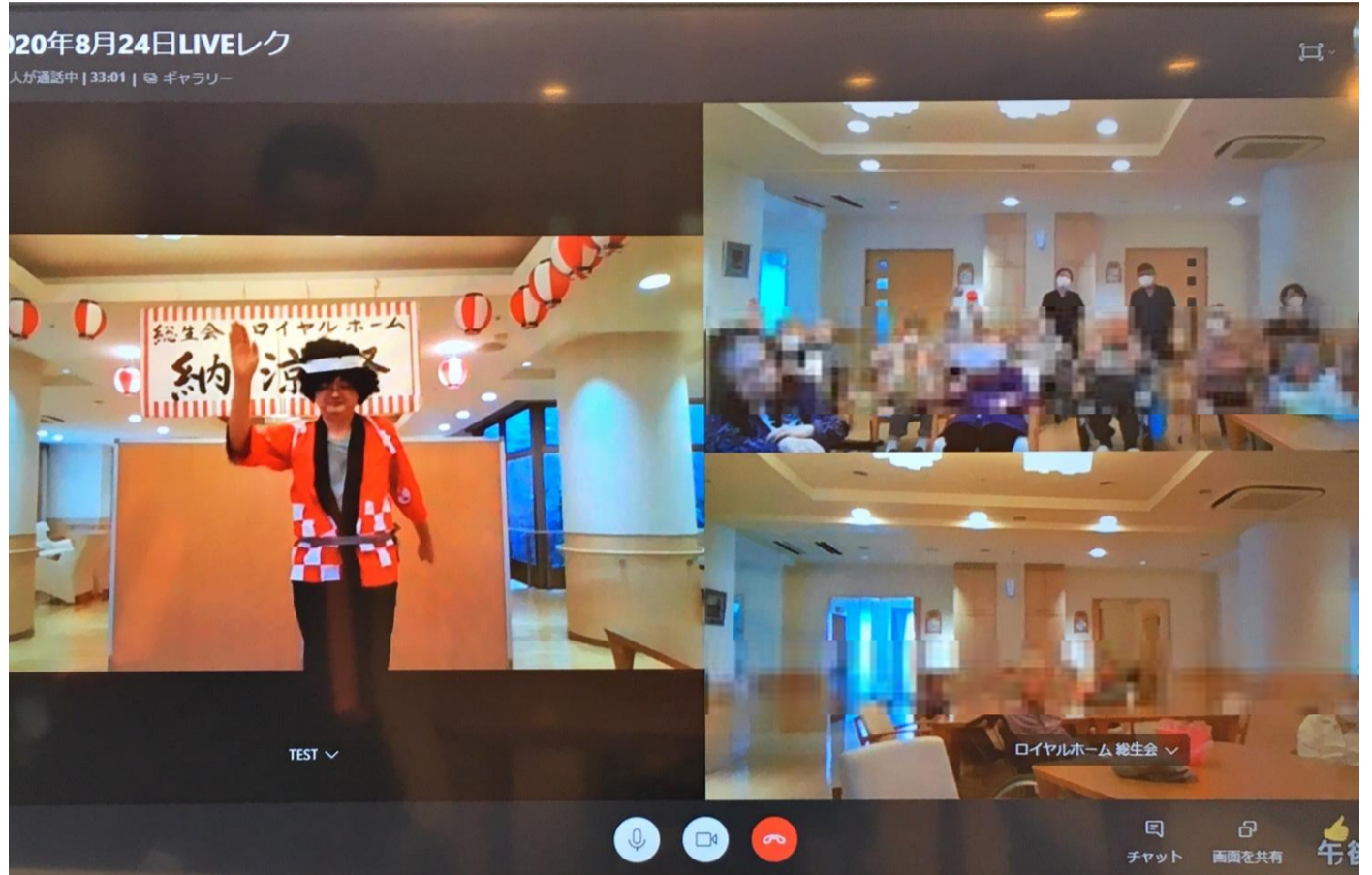
長い梅雨が終わり、8月に入ってようやく夏が訪れました。例年通りであれば、ロイヤルホームでは納涼祭を計画しご入居者様、並びにご家族様と一緒に、過ごす予定でした。しかし、今日の状況では難しい企画となってしまいました。

そこで、今年は夏祭り風レクリエーションと題して、夏のお祭りの雰囲気を楽しんでいただけるような取り組みを3日間行いました。ここでは、オンライン面会でも使用しているSkypeを駆使し、これまで行ったことのない、だからこそできる、初めての経験をさせていただきました。

1日目は小田急デパート地下1階からの中継を利用したお買い物、スイカ割の中継、2日目は盆踊り体操、3日目はロイヤル落語の中継、大抽選会といった内容でした。当初予想していた以上に活発なレクリエーションとなりました。



9月の特別食(常食)：釜揚げ茶そば、海鮮かき揚げ、太巻き寿司&いなり寿司、ミニサラダ、柚子ムース



盆踊り体操：Skypeを利用し1Fからの中継に合わせて踊っている様子

COVID-19と夏祭り

前原 咲奈
2020年9月11日

今年は、新型コロナウイルスの影響で、例年通りの夏祭りとはいかず、しかし、どんな形でも開催したい！その想いで、8月23日、24日、25日の3日間で、夏祭り風レクリエーションを開催しました。

1日目の午前は、小田急デパートからの中継で、皆様それぞれ好きな物を買われていて、美味しそうなものばかりで何にしようか迷われていました。「最近食べていなかったから美味しかったわ、また食べたいです。」と食べた皆様は、満足されていました。午後からは、職員が川に行き、スイカ割の中継をしました。途中、風が強くて中継が途切れてしまい、ハプニングもありましたが、無事にスイカが割れ、美味しく頂きました。

2日目は、毎年恒例の盆踊り体操を、Skype中継で踊りました。1年振りの盆踊り体操でしたが、身振り手振りを使って楽しそうに踊って

ました。

最終日の3日目は、ロイヤル寄席と大抽選会を行いました。ロイヤルホームの職員が、本格的な落語を披露してくれました。職員も、利用者様も、笑いが絶えず、終始和やかな雰囲気でした。大抽選会では、あらかじめ自分で引いた番号を握りしめて、テレビを見つめていました。自分が当たらなくても、拍手をし、声をかけ、自分の事のように喜ばれていました。豪華景品を貰った方は、インタビューをされ、恥ずかしそうにされていましたが、笑顔で答えていました。一位の景品は桐の箱に入った高級タオルのセットで、4Fの入居者様が当たりました。

この3日間はロイヤルホームにとっても初めての試みでしたので、ご入居者様にご満足いただけるか不安でした。しかし、皆様の笑顔を見ることができて率直にうれしかったです。また、次の企画に向けての熱意が高まりました。

今月のトピック

・SKYPE面会の手ごたえ

・スタッフ紹介(事務所)

・委員会活動報告(危機管理委員会)

Skype面会の手ごたえ

石井 太一
2020年8月25日

厳しい暑さが続いておりますが、皆様お健やかに過ごしてはいかがでしょうか。7月20日より再度面会制限とさせて頂く事となり、ご入居者様との直接的な面会が出来ず、ご家族様におかれましては、ご心配をお掛けしております。

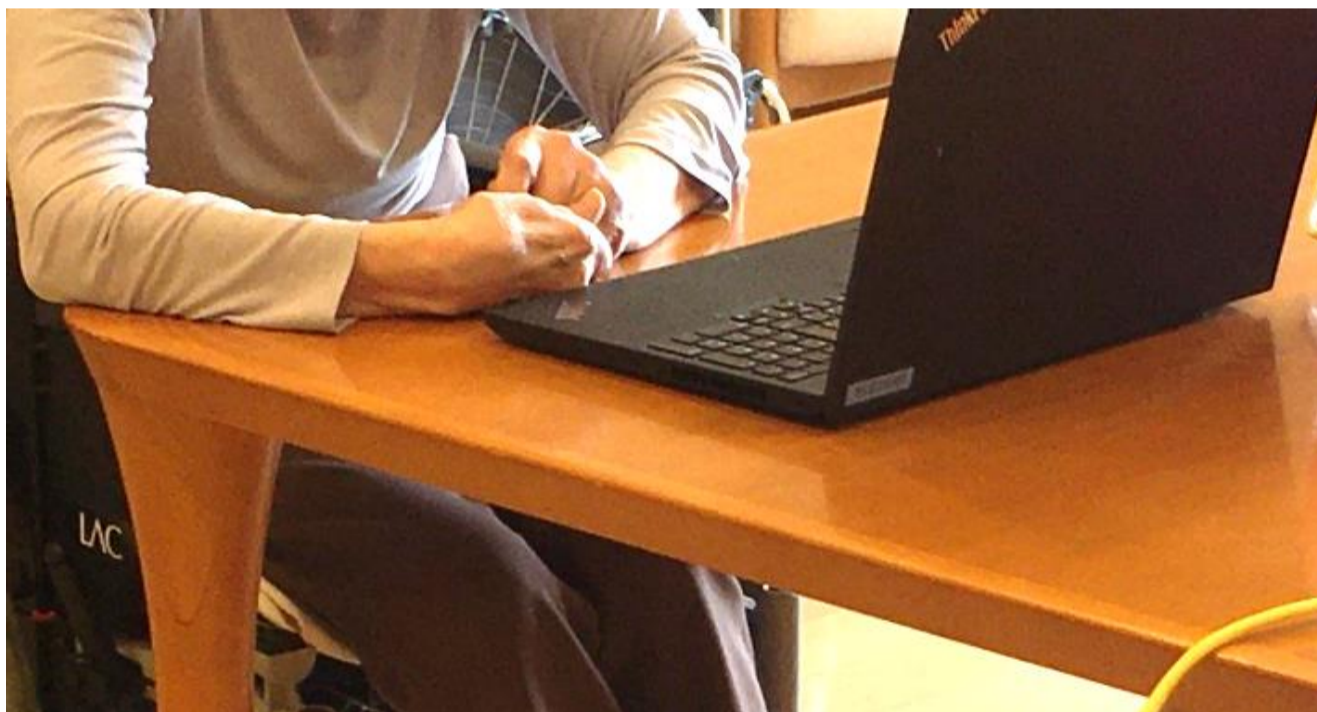
そんな中、ロイヤルホームでは、COVID-19感染拡大防止とご入居者様とご家族様への「安心」を考慮致しまして、Skype(スカイプ)を使用したオンライン面会を実施しております。ご家庭でお持ちのパソコンやタブレットにてSkypeのアプリに接続して頂き、ご入居者様とご家族様が画面越しでお顔を見ながら、対話する事が可能となっております。

対象のご入居者様は、おやつ前の時間帯に、「三密」を避けた各階談話室のパソコン

画面を通じ、Skype面会を行って頂いております。

はじめは、ご家族様とご自身のお顔が映し出された瞬間、「あら～」と驚かれています様子でした。「体の調子は大丈夫ですか？」と健康状態の確認や、「〇〇はどうしていますか？」と普段日常的に行っていた会話、「今の事態が収まったら、会いましょうね」と収束への願いも対話の中で聴かれておりました。画面上での会話を楽しまれる事で、聴覚が刺激され認知症予防にも期待されております。

コロナ禍以前には、当たり前であった日常が行えない現在、ご家族様、ご友人との久しぶりの画面上での対面は、ご入居者様にとって印象深いひと時であるご様子でした。皆様が安堵される事を、スタッフ一同切に願っております。



写真：Skypeを使った面会を行っている入居者様



お知らせ

9月よりホームのスタッフには、フェイスシールド or アイシールドの着用が義務づけられました。中にはスタッフがだれかわからない、なんだか怖いとの声もありますが、ご入居者様、並びにスタッフを守る手段です。ご理解の程よろしく願いたします。

写真：4F庭園に現れたノコギリクワガタ

スタッフ紹介

2020年8月24日



振り返り

岡 聖史
2020年9月1日

2020年の甲子園は中止となり、高校球児たちには悔しい夏となりました。「スポーツができるのは平和の証」と言いますが、平和を実現するには人や環境等様々な要素が必要です。一方で、今年も原爆の式典をテレビで目にしました。多くの命、多くの苦しみ等、「悲しみの経験」は平和に欠かせないのかと考えました。たしかに、「悲しみの経験」があるからこそ平和は継続するのかもしれない。しかし、コロナとの闘いで能動的に相手を守る「思いやり」によって実現できる平和があることを実感した人も多いと思います。コロナとの闘いは長期的になることが予想されていますが、withコロナの日常で「悲しみの経験」や「思いやり」が薄れないようスタッフ一丸となっていきたいと思いました。

委員会活動報告（危機管理委員会）

宮井 俊
2020年8月23日

危機管理委員会では施設内での①事故とヒヤリハット報告の検証、②感染症発生報告③身体拘束実施状況の報告と廃止に向けての検証、の三点を中心に月一回話し合いを行っています。

具体的に①については、月内に発生した事故・ヒヤリハット報告の内容を精査し、再発防止の対策が適正かを話し合っています。②については、月内に発生した感染症の内容の報告と対策が必要な場合の内容の確認を行っています。季節性の感染症が流行する前には施設内の勉強会を企画・実施

しております。③については止むを得ない場合に行っている身体拘束について、入居者様の現状を踏まえて、代替の方法を含め中止できないか検討しています。

上記内容にて委員会を開催し入居者様が安心してホームでお過ごしいただけるように、各スタッフと情報共有を行っています。